



6月 えんだより



ともしび保育園 6月1日発行



「ちゃんと遊びます」

今年は梅雨入りが早いという予報があり、早くもじめじめ、ムシムシがなんともいえない時期となりました。

3年連続、同じ6月にこの巻頭言を担当することになりました。前回のタイトルは「その固定概念、捨てませんか？」で、日々自分の保育への意識を高めてやっていきます！という内容でした(もし興味ある方いましたらお声がけください)。

しかし、またもや子どもに教えてもらったことがあります。

5月の園庭で遊んでいた日のことです。こぐま組の子どもたちは水で遊ぶのが大好きなので、タライに水を入れておき、そこから自分で必要な分を運び、使えるようにしていました。カップからカップへ移し替えたり、お団子を作ったりしていたのですが、しばらくすると、地面に水をかけて濡らすのが楽しくなったようです。それを見て「(このあととはきりん組が園庭にでるよなあ…) ごめんね～、きりんさんが出てくるからあんまり水たまりにならないようにしてほしいな…」と声をかけていました。声かけによりやめる子もいれば、やり続ける子もいました。やり続ける子の横に行き、一緒にしゃがんで、その水を目で追っていくと、「あれ、ゾウに見える?」「あれ、なんか泡立ってる?」と子どもと同じタイミングで私自身も水が起こした変化に気がつきました。さらに、水がどんどん吸収されていく瞬間に子どもが「なんかおみずのんでるみたいだね～」と一言。その瞬間、「あ、そうだよ。こういうのがおもしろいだった!」と子どもに気づかせてもらいました。

頭では分かっている、実際にできている、ということもあるとは思いますが、昨年の巻頭言でも書いたように、どこかでまだ「ちゃんとしないと」思っていたようです。

もちろん、生活面でのメリハリのようなものは必要かと思えます。ですが、遊びの面では子どもの「やりたい」と思うことを、しっかりと肯定できるように、「なにがしたいのか」をしっかりと感じ取っていきたいです。その上で子どもたちと同じくらい楽しんでいくために「ちゃんと遊びたい」と思えます。

こぐま組担任兼幼児リーダー 笹原 貴央

